

ブドウより甘〜い



出荷作業に追われるとくじや地食べ公社の作業場

「生産が追いつかな 社職員の風早 悟さん いほど予約が入る。ほとんがほく顔で話とんがリピーターです。7、8年前に栽培を始めた市の外郭団 今年にはハウスと合わ せて計約60で2万本 体・そつじや地食べ公の生産を見込む。8月

総社市と周辺地域で栽培されているスイートコーンの人気が過熱している。強い甘味が特長のスイートコーンは、収穫から日がたつにつれ糖度が

総社、倉敷の2法人

落ちるため、鮮度が高い地元産を求める消費者が多い。同市内で生産する二つの農業法人では、今季は完売の状態となっている。(久万真毅)

鮮度高く予約殺到、完売



「今年のは甘かった」と話すクラカアグリの担当者

上旬までがシーズンだが、今年は梅雨後の猛暑で生育が進み、例年より2週間早い7月中旬には収穫を終えそうだという。同市西郡の畑に設けた直売所で1本180〜200円で販 売。「甘くておいしい」と口コミで評判が広がると、予約が殺到し、今年分は完売した。来年もハウス物の出荷が始まる5月中旬から販売を始める予定にしている。総社、倉敷市で1・計画にしている。

スイートコーン人気

2鈴を栽培する農業法人のクラカアグリ(倉敷市西中新田)は、今季分の約4万本が完売した。

